



# APPENDIX A

## ケーブルのピン割り当ての識別

この付録では、10/100/1000BaseT ポートと RJ-45/DB-9 ポート、およびコンソール ポートの RJ-45 ケーブルのピン割り当て情報について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「10/100/1000BaseT コネクタ」(P.A-1)
- 「コンソール ポート (RJ-45)」(P.A-2)
- 「RJ-45/DB-9」(P.A-3)

## 10/100/1000BaseT コネクタ

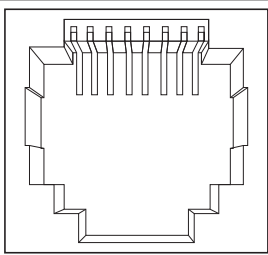
Cisco 170 シリーズ アプライアンスは 10/100/1000BaseT ポートをサポートします。100BaseT と 1000BaseT の操作には少なくともカテゴリ 5 のケーブルを使用する必要がありますが、10BaseT の操作にはカテゴリ 3 のケーブルを使用できます。

10/100/1000BaseT ポートは、標準 RJ-45 コネクタを使用し、MDI コネクタと MDI-X コネクタをサポートします。イーサネット ポートは通常、MDI コネクタを使用し、ハブのイーサネット ポートは通常、MDI-X コネクタを使用します。

MDI を MDI-X ポートに接続するには、イーサネット ストレート型ケーブルを使用します。MDI を MDI ポートに、または MDI-X を MDI-X ポートに接続する場合は、クロス ケーブルを使用します。

図 A-1 に、10BaseT コネクタ、100BaseTX コネクタ、および 1000BASE-T コネクタ (RJ-45) を示します。

図 A-1 10/100/1000 ポートのピン割り当て

ピン	ラベル	1 2 3 4 5 6 7 8
1	TP0+	
2	TP0-	
3	TP1+	
4	TP2+	
5	TP2-	
6	TP1-	
7	TP3+	
8	TP3-	

# コンソールポート (RJ-45)

シスコの製品には、次の種類の RJ-45 ケーブルが使用されます。

- ストレート
- クロス ケーブル

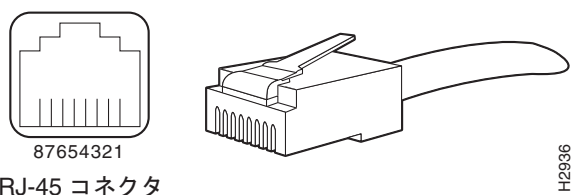


(注)

これらのケーブルはシスコ製品ではありませんが、一般に入手可能なケーブルです。

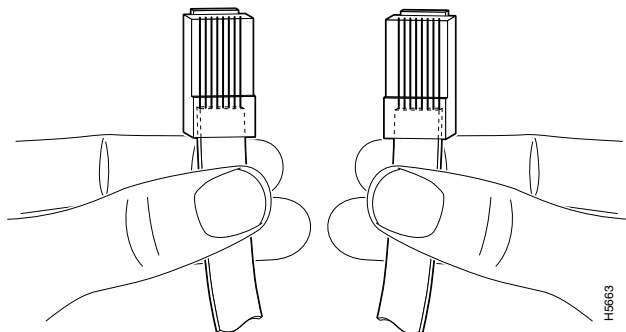
図 A-2 に、RJ-45 ケーブルを示します。

図 A-2 RJ-45 ケーブル



RJ-45 ケーブルの種類を識別するには、ケーブルの両端を並べて持ち、ケーブル端の中にあるワイヤの色を確認します。図 A-3 を参照してください。

図 A-3 RJ-45 ケーブルの識別



カラー ワイヤが並ぶ順序で、RJ-45 ケーブルの種類を判別します。

- ストレート ケーブル：カラー ワイヤがケーブルの両端で同じ並び方をしています。
- クロス ケーブル：一方の端で最初（左端）のカラー ワイヤが、もう一方の端で3番目のカラー ワイヤになっています。

表 A-1 に、RJ-45 ロール型（コンソール）ケーブルのピン割り当てを示します。

表 A-1 RJ-45 ロール型（コンソール）ケーブルのピン割り当て

信号	ピン	ピン	ピン
-	1	8	-
-	2	7	-
-	3	6	-

表 A-1 RJ-45 ロール型 (コンソール) ケーブルのピン割り当て (続き)

信号	ピン	ピン	ピン
-	4	5	-
-	5	4	-
-	6	3	-
-	7	2	-
-	8	1	-

## RJ-45/DB-9

表 A-2 に、RJ-45/DB-9 ケーブルのピン割り当てを示します。

表 A-2 RJ-45/DB-9 ケーブルのピン割り当て

信号	RJ-45 ピン	DB-9 ピン
RTS	1	7
DTR	2	4
TxD	3	3
GND	4	5
GND	5	5
RxD	6	2
DSR	7	6
CTS	8	8

